

科目	課題研究
----	------

担当者 西岡千代美

教科	家庭	単位数	4	学科・学年	食品デザイン科 3年 生活デザインコース(選択)
使用教科書	なし			副教材等	なし
授業の概要	1 産業現場における実習について、目標を決め、達成していく学習です。 2 子どもの表現活動、子どもの看護に関する保育検定を受検し、知識と技術を学びます。			学習の目標	1 自分の進路を考え、関連場所で主体的に実習を行います。 2 実習の目標を自分で設定し、その達成のために努力します。 3 子どもの表現活動、子どもの看護に関する知識と技術を身に付けます。
学習内容				評価の観点・評価方法等(※学期ごとに下記の項目で評価します。)	
1学期	現場実習	<ul style="list-style-type: none"> 東大洲こども園 老人保健施設フレンド 	関心・意欲・態度	【趣旨】 ・実習に取り組む態度が意欲的で、自分から進んで実習に取り組むことができる。また、自分の進路と関連付けて、積極的に取り組むことができる。 【評価方法】 ・実習中の態度、取組、記録簿の内容を踏まえ、実習先と学校で評価します。 【割合】 ・30%	
	現場実習		<ul style="list-style-type: none"> 東大洲こども園 老人保健施設フレンド 	思考・判断・表現	【趣旨】 ・自分で目標や課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断し、実行できる。 【評価方法】 ・記録簿の内容や所感、検定の取組、自己研修の内容で評価します。 【割合】 ・20%
2学期	現場実習	<ul style="list-style-type: none"> 東大洲こども園 老人保健施設フレンド 	技能	【趣旨】 ・現場実習や検定を通じて、基本的な技術を身に付けることができる。また、それらの過程や結果を記録簿に整理することができる。 【評価方法】 ・実習先での評価と検定実技の得点によって評価します。 【割合】 ・30%	
	現場実習のまとめ 実習施設へのプレゼント作り 自己研修		知識・理解	【趣旨】 ・現場実習を通じて、職業人としての在り方を理解できる。進路と関連付けて自分の目標を達成し、適切な振り返りと自己評価を行うことができる。 【評価方法】 ・実習先での評価と記録簿、検定の取組内容によって評価します。 【割合】 ・20%	
3学期			その他	・年度末の評価は、1学期、2学期、3学期の評価を総合して行います。	
課題提出物等	1 毎時間、記録簿に内容をまとめて提出します。 2 毎時間、目標を設定し、その目標に達成したかどうかを自分で客観的に判断し、自己評価を行います。 3 保育検定で身に付けた知識・技術を現場実習で検証します。				
担当者より	1 自分の進路に合った実習先で実習に取り組みます。 2 実習を通じて、現場で必要な知識や技術、コミュニケーション能力を身に付けてもらいます。 3 欠席しないように、体調を整えて実習に取り組みましょう。 4 実習先では主体的に取り組み、気付いたことや疑問に感じたことは積極的に質問しましょう。				